



緑丘トピックス

平成 28 年度
第 7 号
2月10日(金) 発行



Date Midorigaoka High School 北海道伊達緑丘高等学校 TEL/FAX 0142-24-3021



うれしかったことと僕の好きな先生」 校長 吉瀬 献策

師走の勉強合宿に15名の生徒が勉強三昧の3日間を体験しました。諸君の最終日の振り返り学習の様子や感想から有意義な時間を過ごしたことがうかがえましたがなにより、その表情に十分な達成感や満足感を認めることができ、教育活動の成果の多くが遠い未来に持ち越されることが多い我々教職に就く者にとっては至福の瞬間でした。さらに、最終日に拝見した先生方の表情は校長冥利に尽きるものです。今回の企画から運営まで携わっていただいた熱意ある先生方に心から感謝申し上げたい。また、保護者の方や諸先生方の物心共に頂いた励ましにもお礼申し上げます。志を高くし、苦しいことや困難なことに自ら対峙していくことの意義をきくと彼らは体得したでしょう。一石を投じた波紋のように、これから級友諸君に感化の輪が広がっていくものと期待しています。

さて、この勉強合宿、実りの多かったことには生徒のモチベーションを高めるべく緻密なプランが練られていたことが重要なファクターでした。情報機器を駆使したり生徒の心理をよく分析しストレスを溜めぬように「抜き」の場面を設定したり、担当者の教育的手腕やスキルには高いものが認められます。そうして、我が高校時代の恩師を振り返るとき、彼らの教育者としての「売り」はなんだったか明確に思い出せないことに思い至ります。

校内で最も生徒に恐れられた担任の体育教諭には学級運営は君に任せると2年間ずっとクラス委員長のご指名を受けました。大学時代、学生運動を経験した国語の若先生の家にはよく遊びに行き朝まで語り明かしていましたが、二日酔いの午前は自分に授業が任せられました。その彼の仲良しで驚愕するほどの四角い文字を操る日本史の先生は性格も身なりも板書を実践するようなひとでした。3年生の数Ⅲを担当し自らを「でもしか先生」と標榜していた先生からは受験勉強していたら下駄を履かせてやると言われ通信簿に2を頂戴しました。各種検定や資格を30数種も持つという弁護士を目指しながら大病を患い断念したという倫理の先生の授業はあまりに高尚で哲学的過ぎて睡眠学習をしていない者は自分一人でしたが、学問の深淵に触れるような心持ちで臨みました。物理の口角泡を飛ばすが如く授業を展開するも全く生徒受けしない彼の授業で唯一クラス全員が爆笑したのは、昨日の落雷が自宅に落ち視聴していたテレビが目の前で爆発したという件でした。授業をよくふける愛娘の姿を求めて校舎の周りを肩を落として歩く教頭先生の姿を窓の外にぼんやり眺めていたりもしました。いまでは見かけなくなった学校の姿ですが、40年近く前はこういうひとたちが教壇に立っていました。そんなひとたちが私は好きでした。

この学び舎を巣立って行く諸君は、緑の先生方をどんな映像で記憶していくのでしょうか。

年の瀬の芸術鑑賞 音楽で生徒魅了

12月21日、冬季休業前最終日の5校時、体育館で芸術鑑賞を行いました。今回は東京を中心に第一線で活躍するゴスペルボーカルグループ「スターライツ (Star Lights)」の皆さんをお招きし、本格派のゴスペル音楽を全校生徒で楽しみました。スターライツは約90分にわたり全17曲を歌唱。ゴスペル文化の歴史や楽曲が生まれたルーツに関するエピソードをわかりやすく紹介しながら、息の合ったハーモニーを奏で、生徒たちの心をつかんでいきました。ライブの途中



には全校生徒で校歌も斉唱。このほか、学校祭の合唱コンクールで課題曲となった「Amazing Grace」や、季節にふさわしいクリスマスソングが披露されると、会場が一体となって盛り上がりました。スターライツの皆さん、素敵な演奏をありがとうございました。



2泊3日勉強合宿 受験への意識高揚



冬季休業中の12月26日～28日、室蘭市にある合宿施設「だんばらサンパワー380」を会場に、2泊3日の勉強合宿を行いました。

この合宿は本校スタークラブが中心となって計画したもので、全校に参加が呼びかけられました。参加した15名の生徒たちは、本校教諭による「国語」「数学」「英語」3講座のほか、食事・入浴をのぞく時間はすべて自習に取り組みしました。

また1日目の夜には、首都圏の予備校などで数多くの受験生を難関校合格に導いてきた伊藤賀一先生を特別講師として東京からお招きし、「日本史」講義のほか、受験へのモチベーションや勉強方法など幅広く伝授していただきました。あつという間の3日間でしたが、参加した生徒たちは志望校合格に向け、ますますハートを熱くしました。

3学年の生徒たちが「大学入試センター試験」をはじめ上級学校の一般受験に臨む中、「先輩に続け！」と下級生も頑張っています。



〈平成28年度3学年(第32期生)の進路合格状況 ※2月3日現在〉

4年制大学・短期大学	専門学校	就 職
国公立大 … 4名	看護専門学校 … 11名	民間 … 17名
私立大 … 19名	その他専門 … 39名	公務員 … 5名
短 大 … 7名		

現在、大学(国公立・私立)や看護専門学校は「一般受験」の真っ只中です!

家庭部の生徒たちが ボランティアで地域貢献

家庭部の生徒たちが製作した「タオル帽子」26個が、市内ボランティア団体である「ひだまりの杜」に寄贈されました。1月28日、部を代表して田中稚菜さんが贈呈のため末永町宮前会館を訪問し、「病気に苦しむ子どもたちのために役立ててください」と挨拶。タオル帽子は抗がん剤で髪が抜けてしまった子どもたちのために製作され、家庭部は5年間にわたり毎年寄贈しています。



このほか1月13日には、2学年の家庭部生徒7名が「生活協同組合コープさっぽろ」主催の『冬休みお仕事キッズ』に小学生の“先生役”として参加しました。生徒たちは「食育コーナー」で子どもたちに手製のクイズを出題したり、風邪予防に効果的な「ハニーシンジャーシロップ」を子どもたちと一緒に作りました。生徒たちもうまくいくかどうか不安があったようですが、小学生たちはとても楽しんでくれました。

茶華道で日頃から修練された「人をもてなす精神」が、ボランティア活動や地域貢献にも結びついています。



